

8 香取市の課題と指導改善のポイント

教科等の重点的な指導について

◆「思考し、表現する力を高める実践モデルプログラム」を活用した授業改善

- ・単元計画や授業計画の中に、「見いだす」「自分で取り組む」「広げ深める」「まとめあげる」という4つの過程を意図的・計画的に位置付け、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組む

◆学習の見通しと振り返りを大切にした授業づくり

- ・既習内容や生活経験といった根拠のある見通しをもたせる工夫をする
- ・学習で学んだことを自分の言葉でまとめる活動を取り入れる

◆言語活動のさらなる充実

各教科において、引き続き児童生徒の発言や発表の時間を確保するとともに、それらの表現の質をさらに高められるように以下の取組を行う

- ・自分の考えをよりの的確に伝えられるように語彙を増やす活動
- ・話し合う内容の焦点化
- ・発表の工夫についての指導や助言の場の設定
- ・話す内容を書く活動につなげる取組
- ・感想や意見を書く活動
- ・長文や物語を要約して書く活動

◆全国学力・学習状況調査を活用した「指導改善サイクル」の確立

- ・調査問題の内容を把握する
- ・調査結果の把握とその分析を行う（県分析ツールを活用する）
- ・指導改善の取組を行う
- ・指導改善の取組結果を検証する

☆各学校から「学力向上の好事例」を収集および共有し、各学校の実態に合わせて活用していきます。

☆県分析ツールを活用した研修会を実施し、各中学校区や各学校の結果を把握・分析し、授業改善に役立てていきます。

生活習慣・学習習慣について

◆家庭での学習習慣の定着

- ・学校（教員）は、児童生徒の実態に合わせて、家庭学習の量や質、方法、時間などを十分検討し、内容の充実を図る
- ・学校（教員）は、児童生徒に対して家庭での学習方法や内容の充実を図るための指導、助言を行う
- ・学校（教員）は、保護者に対して家庭学習の啓発を図り、習慣化できるように支援する

☆保護者用リーフレット「家庭学習のすすめ」の活用の充実を図っていきます。

☆「eライブラリ」「チーてれスタディーネット」「ちばっ子チャレンジ100」を活用するなど、家庭学習における内容の充実に向けて取り組みます。

9 指導の重点

○文部科学省提供の資料を活用し、各校の授業改善に役立てます。

- ・令和3年度全国学力・学習状況調査 報告書
- ・令和3年度全国学力・学習状況調査 解説資料
- ・令和3年度全国学力学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例

○千葉県教育委員会提供の資料を活用し、各校の授業改善に役立てます。

- ・「全国学力・学習状況調査データ」の分析ツール
- ・学びの突破口ガイド（小学校 低・中・高学年）
- ・ちばっ子チャレンジ100（小学校 低・中・高学年）
- ・「ちばのやる気」学習ガイド1・2・3（中学校 全学年）
- ・「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム改訂版
（小学校1年～中学校3年）

○千葉県教育委員会では、家庭学習の充実をめざし、さまざまな視点から自らの学びを築くためのヒントをホームページに掲載しています。

対象は、児童生徒のみなさんや保護者の方々、そして学校の先生方です。

下記URLを参照して、家庭で、学校でご活用ください。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/2011/kateigakushuu.html>

○香取市教育委員会では、保護者用リーフレット「家庭学習のすすめ」を作成し、全小中学校の児童生徒を通して全家庭に配付しています。

下記URLを参照して、家庭でご活用ください。

<http://www.city.katori.lg.jp/kosodate/gakkokyoiku/kateigakushu.html>